

平成 21 年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会のミッション	2
事業機構	4
利用者の状況	6
デイケア事業	12
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進／ハートフルアクト日進	
ナイトケア事業	20
児童デイサービス事業	23
相談支援事業	29
名東区障害者地域生活支援センター	
ハートフルアクト日進相談支援センター	
サービス品質の向上を目指した取り組み	37
リスクマネジメント	
給食委員会	
法人職員研修	
機関誌「WORKS」編集部	
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

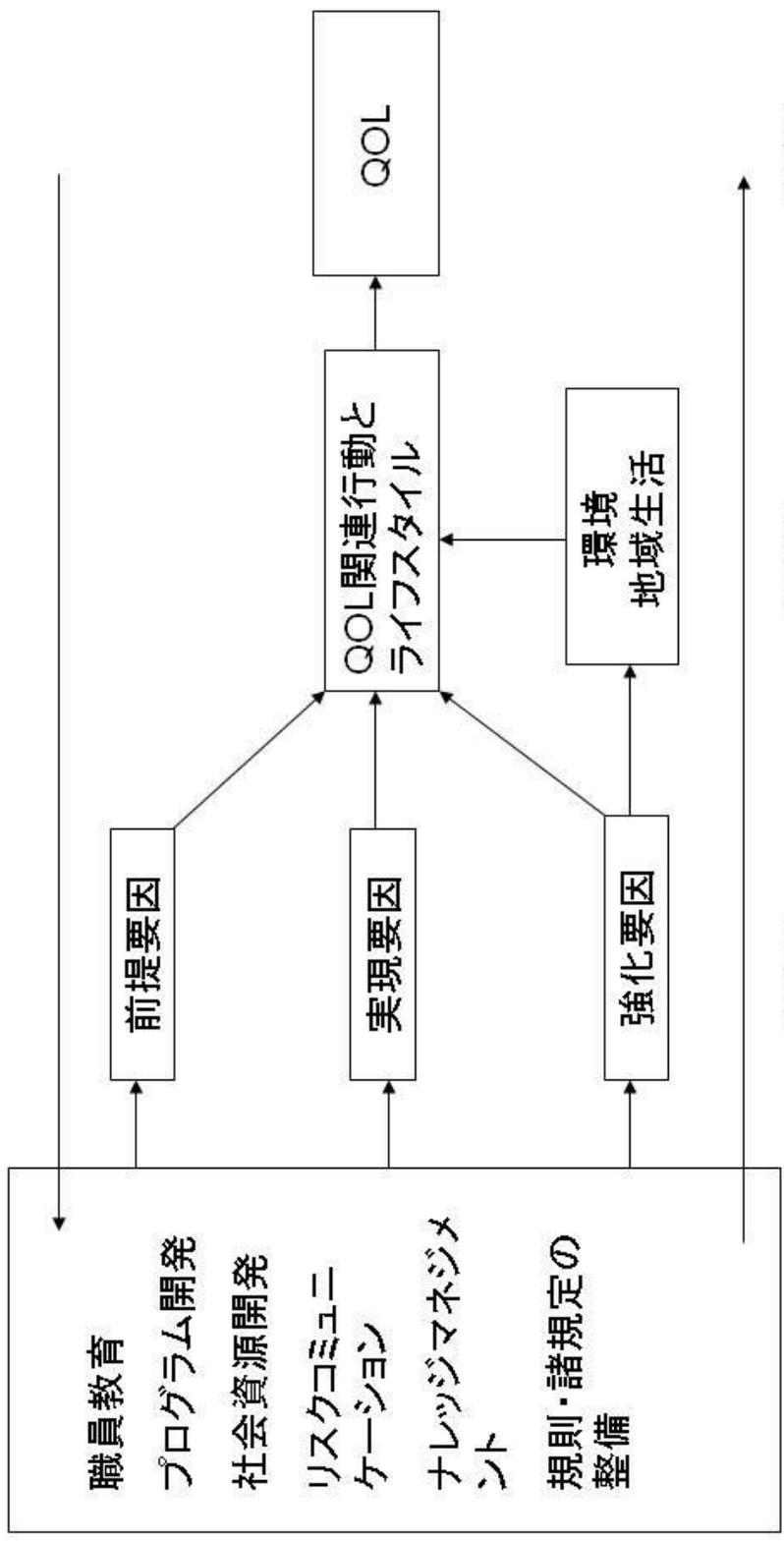
利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル

第一段階
社会的診断

第二段階
行動と環境の診断

第三段階
応用行動分析

第四段階
経営政策決定



第八段階
QOL診断

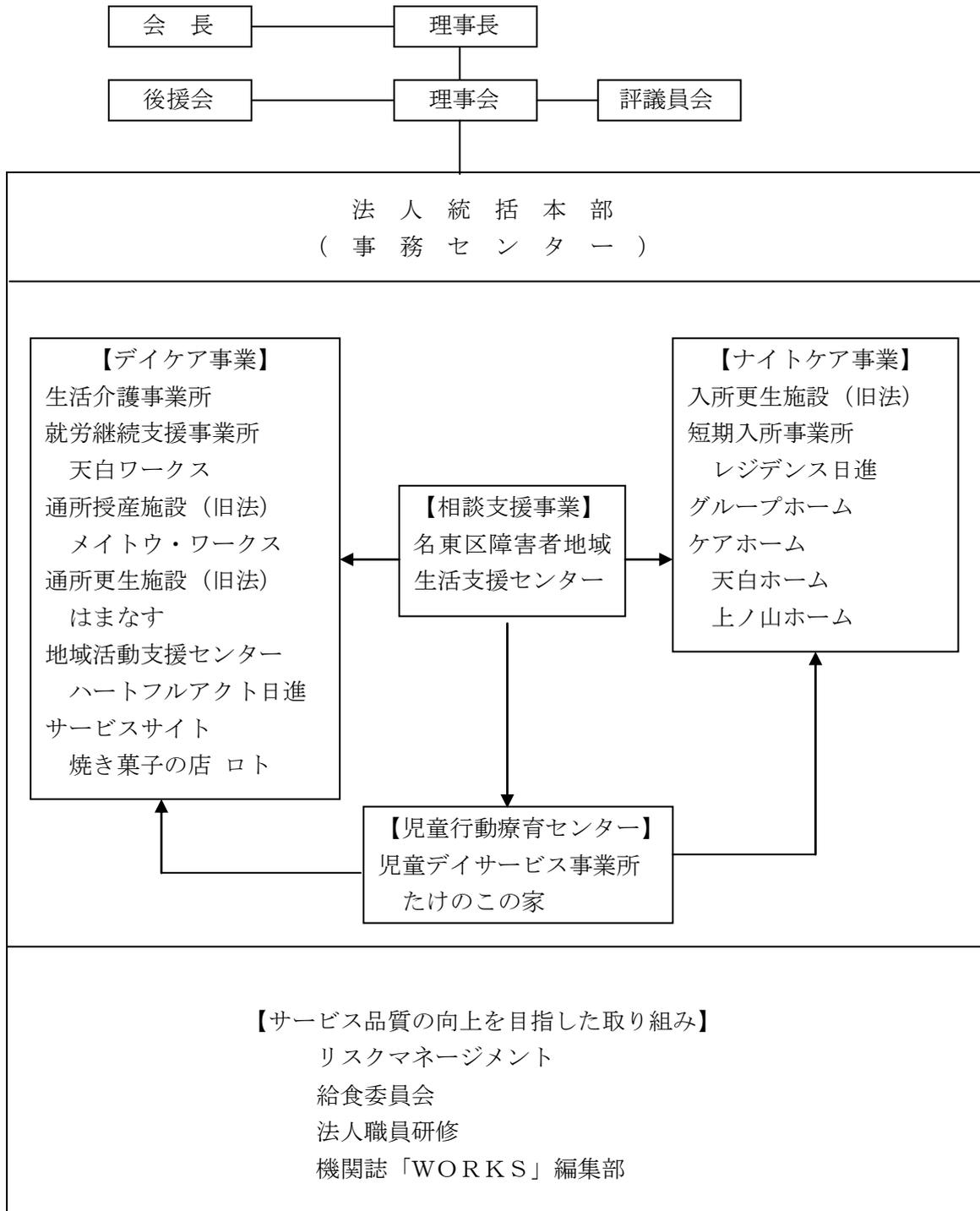
第七段階
行動と環境の効果測定

第六段階
各要因の効果測定

第五段階
経営政策診断

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成22年4月1日現在・計93名）

	理事長	会 長	本部長	事務員	所 長	支援員 相談員		看護師	栄養士	医 師	
						男	女				
法人全体	1	1	1	2	6	35	44	2	1	1	
メイトウ・ワークス					1	5	8			(1)	
天白ワークス					1	4	8	(1)		(1)	
はまなす					1	3	5			(1)	
レジデンス日進					1	21	19	1	1	(1)	
ハートフルA日進				(1)							
天白ホーム				(1)							(1)
上ノ山ホーム				(1)							(1)
たけのこの家					1	1	3				
名東区支援C					1	1	1				

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(平成 22 年 4 月 1 日 現在)

名東福祉会は現在、約 250 名の方々から施設サービスを中心とした利用契約をいただいています。児童行動療育センター（児童デイサービス）「たけのこの家」も東部名古屋地域の児童療育の拠点として、年々、評価を高めています。また、地域生活支援センターを名古屋市名東区に設置し、相談支援事業を通じた地域福祉の推進を目指しています。

21 年度に開設した「上ノ山ホーム」も軌道に乗り、今後はナイトケア事業の一層の充実が求められます。

1. 年齢分布

(1) 成人対象事業

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	2	5	4	1	3	9	7	7	4		1	45
天白ワークス	2	1	8	3	4		6	2	2	1	3	2	34
はまなす			4	2	3	2	7	4	3				25
レジデンス日進			2	2		1	10	6	8	5	1	5	40
ハートフルA日進	1		1		1		1		3			1	8
天白ホーム					1		1		1				3
上ノ山ホーム							3		3		3		9
法人全体	5	3	20	11	10	6	37	19	27	10	7	9	164
	8		31		16		56		37		16		

(2) 児童デイサービス事業

	～2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
たけのこの家					1	2	15	2	17	7	14	5	63

2. 居住(出身)地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市														
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	北	中	東	西
メイトウ・ワークス	33			1	1	1			1					1	
天白ワークス	1	17	7						1	1					
はまなす	14	5		2	2	1	1								
レジデンス日進	5	5	3	2		2	2		1	2	1		1		
ハートフルA日進	2	1						1							
天白ホーム						1									
上ノ山ホーム	1	3			3			1							
たけのこの家	7	9	3	2	1		2	3	1		2	2	1		1
法人全体	63	40	13	7	7	5	5	5	4	3	3	2	2	1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外								市内 小計	合計
	日 進	春 日 井	尾 張 旭	瀬 戸	江 南	他 県 内	県 外	小 計		
メイトウ・ワークス	4		2			1		7	38	45
天白ワークス	7							7	27	34
はまなす								0	25	25
レジデンス日進	8	2	1	2	2	1		16	24	40
ハートフルA日進	2		1			1		4	4	8
天白ホーム						2		2	1	3
上ノ山ホーム			1					1	8	9
たけのこの家	8	7				12	2	29	34	63
法人全体	29	9	5	2	2	17	2	66	161	227

3. 障害の程度：障害程度区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		不明	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
メイトウ・ワークス	1		1	2	9	7	5	3	2	2	3	2	8	45
天白ワークス	2		2	2	5	2	9	2	4	3	3			34
はまなす					4		6	1	4	3	3	4		25
レジデンス日進					1		3	3	6	4	5	5	13	40
天白ホーム	2				1									3
上ノ山ホーム			1		2		5		1					9
法人全体	5		4	4	22	9	28	9	17	12	14	11	21	156
*平均 4.1	5		8		31		37		29		25			

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	11	6	1	5	10	9	2	1	45
天白ワークス	12	1	5		8	8			34
はまなす	10	2	4	2	3	2		2	25
レジデンス日進	15	9		1	6	8		1	40
ハートフルA日進	4		1		2	1			8

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
天白ホーム					3				3
上ノ山ホーム	5		1		3				9
たけのこの家	45	12	2	1		3			63
法人全体	102	30	14	9	35	31	2	4	227
	132		23		66		6		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	4	2			2		1	2	3	1	15
天白ワークス	1	2			1		1				5
はまなす	1	3		1				1			6
レジデンス日進	2	2				2		1	1	1	9
ハートフルA日進	1						1				2
天白ホーム											0
上ノ山ホーム											0
たけのこの家	2		1	1	3	1					8
法人全体	11	9	1	2	6	3	3	4	4	2	45
	20		3		9		7		6		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	3	1		4	6	6	3	2	2	9	7	45
天白ワークス	4	1	2		7	1	5	5	4	1	3	1	34
はまなす			2		1	1	2	4	4	1	8	2	25
レジデンス日進	2	1	3			2	16	16					40
ハートフルA日進			4		2		1	1					8
天白ホーム			2				1						3
上ノ山ホーム	2		7										9
たけのこの家	2		40	21									63
法人全体	12	5	61	21	14	10	31	29	10	4	20	10	227
	17		82		24		60		14		30		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	35.8	36	35.7	35	36.1	37.4
天白ワークス	35	35.7	35.8	35.7	35.1	34.2	33.2
はまなす	30	24.9	25.3	25.1	25.1	24.1	25
レジデンス日進	40	36.7	36.3	37.3	36.6	35.6	38.5
ハートフルA日進	15	5.6	6.2	6.5	6.2	6.4	5.3
天白ホーム	5	3.9	4.0	4.0	3.7	3.5	3.0
上ノ山ホーム	9	6.8	8.2	8.7	8.6	8.2	8.4
たけのこの家	10	8.6	8.8	8.9	8.3	8.7	8.7

10月	11月	12月	1月	2月	3月
37.4	35.9	36	35.6	35.4	35.9
32	30.9	32.4	31.2	30.6	33
24.1	24.7	24.3	22.9	23.7	23.8
38.7	38.0	37.5	35.1	38.0	38.1
5.3	5.6	5.4	5.1	5.4	5.4
3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
8.6	8.5	8.6	8.1	8.6	8.6
8.1	7.4	7.8	8.8	8.4	8.3

今年度平均	前年度平均	
36.0	36.0	メイトウ
33.3	32.5	天白W
24.4	25.2	はまなす
37.2	37.7	レジデンス
5.7	1.6	ハートフル
3.3	4.0	天白H
8.3		上ノ山H
8.4	8.0	たけのこ

* はまなすは、地域との話し合いで、25名程度の利用を目安としている

* グループホームは、算出上、週末帰省日は除外

* 上ノ山ホームは平成21年度4月開所

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
94	131	159	147	143	161	178	111	153	157	113	165	1712

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7	10	10	11	12	8	11	11	10	10	8	5	113

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市・長久手町・尾張旭市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	12	16	16	15	10	15
天白ワークス	1	1	1	1		
はまなす	3	1	2		2	
法人全体	16	18	19	16	12	15

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
14	6	9	11	8	12	144	メイトウ・ワークス
1		1	2	1	1	10	天白ワークス
4	2	1	1	3	2	21	はまなす
19	8	11	14	12	15	175	法人全体

デイケア事業

名東福社会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの開発を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながらも、利用者のニーズに基くサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況 (単位：円)

	陶芸	縫製	下請他	計
平成 21 年度	727,389	2,517,205	1,099,832	4,344,426
平成 20 年度	614,729	3,062,300	1,050,221	4,727,250

(2) 作業内容

● 陶芸作業

はし置き、季節の人形、平花びん、お皿など、生活を彩る小物陶器を制作。土に触れる段階から、型抜き、制作、絵付け、焼成後仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。

● 縫製作業

各種変身ぬいぐるみを制作。全国各地の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が多く、利用者の能力に合わせた作業があり参加しやすい。

● 下請作業

自動車部品の組み立て、部品の袋詰めなど、作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。

● 委託業務

タウン誌の配布、喫茶スタッフの委託など、地域に密着した業務を請け負うことで、利用者の社会参加につながっている。

(3) 利用者給与支給状況

150 円／日の基本給と 75 円／時の 2 方式。最も多い方で 9,400 円／月ほど。夏・冬季賞与あり。工賃総額 2,341,900 円

2. レクリエーションプログラム・イベント

● 散歩

終日、作業プログラムに参加することが困難な利用者を対象に、ドライブやウォーキングなどを通じて気分転換や健康維持を行う。地域交流の機会ともなっている。

● グループハイク

小グループによる屋外活動。利用者の個性や希望に応じた場所や時期に行う。テーマパーク・温泉・カラオケ・ボーリング・サーカス・映画・バーベキューなど。

- スポーツ活動
 - ・プール活動（身障スポセン、モリコロパークなど）
 - ・運動会（グラウンドにて男女対抗）
 - ・ウォーキングやジムトレーニング（スポーツセンターにて）
 各プログラムはレクリエーションを兼ねて、健康維持を行おうとするもの。
- リラクゼーション活動
 - 足湯、アロマセラピーなどを中心としたリラクゼーションプログラム。
- 外部団体の公演・季節行事
 - ・天白リバーバンド（オリジナル曲・リクエスト曲の演奏、春のイベント）
 - ・でんでんボランティア（もちつき大会）
 - ・ポケットの会（歌や読み聞かせ、クリスマス会）
 - ・めいとう朗読グループ（歌やパネルシアター、節分会）

3. 地域交流

地域の町内会や子ども会、高齢者グループに休業日や夕方、施設の空きスペースを開放、年間延べ 75 団体が利用した。また、施設の駐車場を南自動車図書館の巡回ポイントとして利用いただき、地域交流の機会ともなっている（年 8 回程度）。

地域の中学校から福祉体験や職場体験、大学生の介護体験や名古屋市職員の新人研修、福祉専門学校の実習など随時行った。

(1) 地域イベント

厚生院春まつり招待参加、高針北保育園「あそびひろば」招待参加、名東高校・東邦高校学園祭バザー、めいとう福祉まつりバザーに出店した。また、名古屋市厚生院へ利用者と職員で出張陶芸教室を行い、高齢者との交流を行った。（月 1 回）

(2) ボランティア受入

年間延べ 290 名に来所いただいた。利用者個々のニーズに応じたサービス提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。より多くの方々に来所していただくことは、利用者との関わりはもとより、地域に開かれた施設であるために不可欠と考える。

天白ワークス

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況（単位：円）

	陶 芸	製パン	焼き菓子	精 米	下請け他	計
平成 21 年度	1,366,323	1,819,548	2,825,790	120,700	1,114,213	7,246,574
平成 20 年度	1,567,385	2,429,328	2,851,300		1,473,066	8,321,079

(2) 作業内容

● 陶芸作業

ゆのみ、カップ、お皿、マグネットなど生活を彩る陶器を製作。土に触れる段階から製作、絵付け、釉掛け、焼成後の仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。単純で分かりやすい作業内容の提示を心掛けています。

大物では、陶壁を製作している。土台を作る段階では、通常の枠を超えた利用者が参加している。建物に取り付け後は、完成品を見学に出かけている。

● 製パン作業

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と植物性油脂（やしの実油のショートニング・菜種油のマーガリン）を原料にしたこだわりのパンを製造。「安心でおいしい」パンとして、保育園や老人ホームでの給食メニューとして好評であったが、焼き菓子・精米作業への移行を図るため、22年3月末で休業。

● 焼き菓子

平成20年9月にオープンした焼き菓子の店〔ロト〕で、手作りのクッキーやパウンドケーキなどを製造・販売している。作業工程を細分化することにより、役割分担が出来て利用者が主体的に作業に参加している。喫茶店や各種団体からの受注製造も行っている。

一周年イベント・季節のイベントが法人内家族会の協力を得て開催された。法人内施設の利用者も喫茶利用している（各施設月1回）。法人内の会議・サークル活動の場としても利用されている。

● 精米

新米の時期に、高級ブランド玄米を仕入れ精米して法人内のご家族に販売。

● 下請作業

作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラム。部品の組み立て、製品の袋詰めが主な作業だが、作業を細分化・構造化することで工程の何処かに関われ多く利用者が生産活動に参加している。利用者の状況に合わせてグループをつくり、グループ別のプログラムイメージを持って提供している。

(3) 利用者給与支給状況

生活介護・就労継続B共に150円/日または70円/時を支給。夏・冬賞与あり。

2. レクリエーションプログラム・イベント

● グループ別活動

日中活動のグループのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して散歩・屋内ゲームを交えた体操・音楽鑑賞などを実施。

- バスハイク
日中活動のグループを基本に屋外活動を実施。
- 家族交流会
利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的として実施。
- ボランティアさんへ感謝の催し
日頃、お世話になっているボランティアさんとレクリエーションを楽しむ日。年1回のゴスペルグループによるクリスマスコンサートも同時開催。

3. 地域交流

(1) 地域イベント

天白区区民まつりは実行委員会から参加。あけぼの学園の祭り（夏・秋）も例年参加しているが、21年度はインフルエンザ関連で中止。

(2) ボランティア受入

基本的に施設開所日に曜日や時間に制限なく、ボランティアさんの活動できる時に参加していただいている。社会福祉協議会の体験ボランティア事業も積極的に受け入れている。

はまなす

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況（単位：円）

	下 請
平成 21 年度	123,830
平成 20 年度	602,895

(2) 作業内容：下請作業

ポケットティッシュの包装、ガーゼの袋詰め、ナット・ワッシャーの袋詰め

(3) 利用者給与支給状況

500 円／月 工賃総額：151,500 円

2. レクリエーションプログラム・イベント

- 通常レクリエーション
毎日午後に創作、スポーツ、音楽、リラクゼーション等のプログラムを実施。

- グループハイク
5～6月、9～10月、3月の年間3回、小グループによる日帰り旅行を実施。
- スポーツ大会（運動会）
6/26 名古屋市障害者スポーツセンター体育館にて、家族会と合同で実施。
- プール活動
7～9月 名古屋市障害者スポーツセンター内プールにて、メイトウ・ワークスと合同で実施。
- 納涼パーティー（夏まつり）
8/12 会食（バイキング）、ゲーム等
- 家族交流会
11/2 利用者、家族会、ボランティア、職員間の親睦交流を目的として実施（八丁味噌の郷見学、岡崎ニューグランドホテルにて会食）。
- 年末パーティー
12/25 会食、カラオケ、ゲーム等
- 成人のお祝い
1/19 名古屋市障害者スポーツセンター2F 会議室にて、家族会と合同で対象利用者2名の成人を祝う。

3. 地域交流

(1) 地域イベント

- 6/7 高針台1丁目町内清掃
- 10/12 高針北部秋のお祭りのバザー品提供
- 11/8 めいとうボランティア展参加（藤が丘駅周辺）
- 11/29 高針台1丁目町内清掃

(2) ボランティア受入

年間延人数 177人

レジデンス日進／ハートフルアクト日進

1. 作業プログラム

(1) 実施種目と年間売上状況 (単位：円)

	下請他
平成 21 年度	340,560
平成 20 年度	445,449

(2) 作業内容：下請作業

作業内容が明確で利用者に分かりやすいプログラムとして、自動車部品の簡易な組立て作業を提供。レクリエーションプログラムと組合わせて日中活動を展開している。

また、新規事業移行を視野に入れた動きとして、利用者の一部は法人内事業所に向して日中活動を行っている。

(3) 利用者給与支給状況

年間 2 回 (夏期、冬期)、下請作業売上を利用者に還元している。夏期は、総額 220,000 円、冬期は総額 168,000 円、合計総額 388,000 円

2. レクリエーションプログラム・イベント

計画的なプログラム提供を目指して、立案→実施→検証・反省を実施している。レクリエーションプログラムでは、毎週の月曜日・木曜日の午後の時間帯に実施している。

「ウォーキング」プログラムとして、運動不足の解消及びメタボ対策を目的に、30 分程度音楽を流しながら室内を歩行している。また、季節に合わせた創作活動など、利用者参加型の展開を目指している。

イベントプログラムでは、季節感の有る企画として、お花見会、節句、スイカ割り、花火大会、かき氷大会、お餅つき大会 (成人式、還暦のお祝いを兼ね)、節分豆まき、ひな祭り、バスハイクでは年間 2 回「みかん狩り、南知多ビーチランド」「イチゴ狩り、デンパーク」、日本福祉大学学生大道芸サークル (3 名) による「大道芸ショー」イベントも実施。

また、レジデンス日進家族会が中心となって「春まつり (たけのこまつり)」「レジデンスまつり (秋まつり)」「クリスマス会」を企画実施して頂いている。

3. 地域交流

(1) 地域イベント

隣接した学童保育所、動作法グループ、子育て支援グループ、地域の市民グループに「地域交流スペース」の貸出しを実施している。また、大学からの保育士実習を受入れている。

「秋まつり」においては、ご近所との交流を大切にする企画として、地元地区の神楽囃子 (お囃子) 保存会の皆さんに来て頂いて、地元の子供から大人、利用者も一緒になっての交流を図っている。

(2) ボランティア受入

法人嘱託医中心のドクターズバンドに、七夕とクリスマス時期にコンサートを開催して頂いている。日進市民生委員ボランティア、近隣のお掃除（施設内）ボランティアも定期的に参加して頂いている。

*** 参 考**

	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	727,389	1,366,323			2,093,712
縫 製	2,517,205				2,517,205
製パン		1,819,548			1,819,548
焼き菓子		2,825,790			2,825,790
精 米		120,700			120,700
下請け他	1,099,832	1,114,213	123,830	340,560	2,678,435
計	4,344,426	7,246,574	123,830	340,560	12,055,390

H20 年度	4,727,250	8,321,079	602,895	445,449	14,096,673
H19 年度	5,818,592	7,383,424	215,296	538,510	13,955,822

ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を中核施設としたケアホーム展開を構想しています。上ノ山ホームを5つ目のユニットと考え、レジデンス日進のナイトケアのノウハウを生かすことで、ナイトケアの拡充を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待が増すのは確実で、健康で快適な生活の場の提供を目指していきたいと考えています。

1. 生活モデル

レジデンス日進のユニットでの生活モデルを基盤に、上ノ山ホーム、天白ホームの事業展開をしている。職員配置はレジデンス日進のナイトケアのノウハウを生かすことで、レジデンス日進の職員を中心に勤務シフトをしており、法人職員のバックアップ体制の維持により柔軟な対応している。

時間	ナイトケアモデル
6:00	起床・朝食・整容 出発（移動）
9:00	日中活動（ハートフルアクト日進及び法人事業所）
12:00	昼食 日中活動
15:00 ～16:00	帰着 入浴・洗濯
18:00	夕食
22:00	就寝
24:00	

2. 各種支援サービス

(1) ユニット単位の支援

レジデンス日進の1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援の基盤をノウハウにして個別対応を中心としたニーズの充足に留意した。特に入浴は、毎日個別に行っている。

(2) 金銭等の管理

レジデンス日進及びホーム利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨として行っている。

(3) 健康管理

レジデンス日進、上ノ山ホーム、天白ホームの生活施設における健康管理の重要性を踏まえ、看護師を中心となって取り組んでいる。看護師は多くの場面で現場支援員の連携が求められる。

年2回の定期健康診断、体重・血圧測定を実施。メタボ対策として、対象利用者は毎朝（休日は除く）30分間のウォーキングを実施している。また、感染症対策、通院支援として体調不良の利用者に対しての早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への継続受診も支援している。往診を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携にも留意している。

また、体調シートを作成し、現場支援員との協力により利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置、状況を記入し、特に傷や怪我については、入浴時にチェックを行うことで、正確な利用者の現在情報が得られるようになり、職員間の引継ぎ、家族への説明がより明確なものとなった。

緊急対応マニュアルの整備として、てんかん発作の際の個別対応シートを作成し、特に夜間帯における対応方法を職員会議で確認した。緊急時により早く対応できるよう、シートを各ユニットに設置している。

児童デイサービス事業

児童行動療育センター「たけのこの家」は、平成 19 年 5 月にスタートして以来、行動療法理論に基づくセラピーの場として活動してきました。この春には、学齢期の子どもたち約 20 名が巣立っていきました。

児童期の過ごし方で、成人期の行動障害は軽減されます。特に就学前の療育のあり方は重要です。「たけのこの家」は、専門スタッフによるセラピーを通じて、ご家族に子どもへの正しい対応を学んでいただくことができます。

1. 利用児童の状況 (P.7~10 利用者の状況参照)

3歳児から小学生まで利用していただいています。3歳児検診の状況や、ことばが遅い、視線が合わない、多動である等に保護者が気づかれる3歳以降から利用を始める方が多く見られます。

また、行動療法を療育の手法としている児童デイサービスであるために、行動療法を受けるために利用を希望される方が利用希望者の大半を占めています。したがって、利用児童の居住地も、日進市、名古屋市全域にとどまらず、遠隔地からの利用者もみえます。

障害の種別としては、年齢が低いこともあり、障害名が付かない児童も見られますが、広汎性発達障害（自閉症）と診断された方が大半を占めています。

● 居住地内訳 (計 63名)

名古屋市	34	春日井市	7	豊川市	1
日進市	8	他愛知県内	12	岐阜県	2

● 年齢区分

	～3歳		～4歳		～5歳		～6歳		7歳～		小計		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
人数	0	0	1	2	15	2	17	7	14	5	47	16	63

2. 利用相談内容

利用にあたっての相談では、年齢が低い段階では「子どもとやりとりができない」「視線が合わない」等の親子間に関する相談が多く、年齢が上がっていくに連れて「ルールが守れない」「お友達とのやりとりができない」等、社会性に関する相談が多くなっています。

保護者の相談数は、3歳児検診受診後や子どもの特徴がはっきりしてくる3歳以降に増化が見られます。

	ソーシャルスキル	多動	パニック	言語	自己刺激	他害	コミュニケーション	視線	こだわり	異食	計
～2歳											
3歳											
4歳		2		1		1					4
5歳	1	6	5	3		1	9	2	1	1	29
6歳	4	6	4	8	2		14	1	4	2	45
7歳以上	5	3	8	8	2	2	15		1		44
計	10	17	17	20	4	4	38	3	6	3	

3. サービス内容

人間の行動原理や学習理論に基づいた、行動療法によるセラピーを実施しています。セラピーには行動療法士、臨床心理士等、専門スタッフを配置しております。

療育プログラムについては、ひとり一人の子どもに適したプログラムをスタッフが作成しますが、保護者にも参加していただき、保護者の相談や教育も重視しています。

種類	内容	利用時間	定員	利用料金
通所療育①	個別・集団療育	9:30～10:30	2名	約1000円/1回
通所療育②	個別・集団療育	11:00～12:00	2名	約1000円/1回
通所療育③	個別・集団療育	13:30～14:30	2名	約1000円/1回
通所療育④	個別・集団療育	15:00～16:00	2名	約1000円/1回
通所療育⑤	個別・集団療育	16:30～17:30	2名	約1000円/1回
家庭訪問	家庭訪問により児童や家族の支援・指導	9:30～17:30	月2回まで利用可	1時間まで約200円 1時間以上約300円

4. 関係機関との連携

保護者会に出かけての行動療法による療育についての説明や、教育機関、福祉機関に対して専門的な助言をおこなってきました。

また、幼稚園教諭や保育園保育士の見学受け入れ、園への児童デイ職員の派遣による、支援内容についての提言等も実施しました。

機関	実施日	形態	内容
中京大学	4/24	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
静岡県立子ども病院	5/21	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
中京大学	5/29	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
有馬病院	6/2	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
幼稚園教諭	6/9	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市特別支援級	6/29	職員派遣	療育相談
金城学院幼稚園	7/8	電話相談	療育相談
中京大学	7/10	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
めいとう kids	7/13	訪問説明	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市特別支援級教員	7/23	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
特別支援級教員	7/24	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
尾西市言語訓練士	8/3	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明

中京大学	8/4	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	8/5	協議会参加	合同部会参加
日進市自立支援協議会	8/26	協議会参加	子ども部会参加
豊明市保育園	8/31	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市ヘルパー事業所	9/29	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	9/30	協議会参加	子ども部会参加
日進市小学校教員	10/6	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
ゆうこうの家職員	10/8	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
ゆうこうの家職員	10/20	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市小学校教員	10/27	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
金沢工業大学	10/29	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	10/29	協議会参加	子ども部会参加
日進市自立支援協議会	11/24	協議会参加	子ども部会参加
金沢工業大学	11/30	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	1/13	協議会参加	子ども部会参加
日進市自立支援協議会	2/16	勉強会	個別支援計画についての勉強会
日進市自立支援協議会	2/24	協議会参加	子ども部会参加
じゃんぐるじむ	3/3.10.17	セミナー参加	サポートブック作成セミナーアドバイザー参加
すくすく園教諭	3/19	見学受け入れ	児童デイサービスの施設紹介・事業説明、行動療法について説明
日進市自立支援協議会	3/25	協議会参加	子ども部会参加

5. 職員研修

研修名	実施日	主催	内容
研修会	4月4日	坂井研究室	事例検討
B T B M W	4月18日	中部行動療法・ 行動変容研究会	スポーツ場面における心理的スキルト レーニング 発達障害児の指導とダイレクトケアス タッフのトレーニング
講演会	5月9日	三好A B A研究 会	三好A B A研究会特別シンポジウム
講演会	5月24日	愛知県臨床心理士 会	講演会・研修会
勉強会	5月27日	ゆうこうの家	テーマ学習（インテーク）
研修会	6月6日	坂井研究室	事例検討
講演会	6月7日	ディスレクシ ア協会	クリニックを訪れる子どもたちから教 えられること（大高クリニック院長）
B T B M W	6月13日	中部行動療法・ 行動変容研究会	統合失調症の理解と治療法－認知行動 理論を中心に－ 発達障害児の睡眠マネジメント
研修会	6月14日	大阪医科大LD センター	発達障害の子どもにみられる視覚能力 の問題とその指導
講演会	6月14日	ウィリアムズ症 候群親の会	スモールステップで子どもと向き合う （講師：那須）
学会	7月10～ 12日	行動分析学会	
勉強会	7月22日	ゆうこうの家	テーマ学習（K-A B C）
研修会	8月1日	坂井研究室	事例検討
講演会	9月13日	美濃認知行動療 法研究会	Macquarie Universityにおける臨床と 研究
勉強会	9月30日	ゆうこうの家	テーマ学習（W I S C-Ⅲ）
研修会	10月3日	坂井研究室	事例検討
学会	10月10日	日本LD学会	特別支援教育における持続可能な教育 実践を！
学会	10月11～ 13日	日本行動療法学 会	認知行動療法を全国民に提供するため に、総力の結集を！
ワークショップ	10月18日	日本発達障害ネ ットワーク	家族支援の取り組み（支援者向け） 井 上雅彦
勉強会	11月25日	ゆうこうの家	テーマ学習（作業）
研修会	12月5日	坂井研究室	事例検討

研修会	12月6日	OCDの会	強迫性障害の治療
勉強会	1月27日	ゆうこうの家	テーマ学習（読解）
研修会	2月6日	坂井研究室	事例検討
講演会	2月14日	発達教育研究所 アトム	専門家と歩む障がい児の子育て支援 谷晋二
勉強会	3月24日	ゆうこうの家	テーマ学習（ペアトレ）

6. 広報活動

広報誌「たけのこレシピ」にて、障害児福祉の現状に対する提言を行うとともに、たけのこでの療育成果や療育方法を、「療育ポイント講座」として情報提供。

- 1号「ご挨拶と自己紹介」「母親のかかわり指導をメインとした介入」
- 2号「効果的な療育のために」「トイレでの排泄を嫌がる幼児への支援」
- 3号「療育施設の必要性と役割」「家庭で問題となった行動に対する支援」
- 4号「他機関との連携、たけのこの家の役割」「家庭での問題行動に対する支援」
- 5号「KB PAC 解説1」
- 6号「KB PAC 解説2」

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域にお住まいの障害をもった方々の支援を積極的に行って来ました。当事者の意向に沿った地域生活支援、自立支援の重要性は増すばかりですし、そのための地域ネットワークの構築は必須です。そんな中で、相談支援事業には、個別相談から地域の課題を抽出し、地域づくりの推進役となることが期待されています。

名古屋市の委託を受けて設置された「名東区障害者地域生活支援センター」は、障害者地域自立支援協議会の運営を通じて、都市部での相談支援のあり方を考え、地域づくりに貢献していきたいと考えています。

1. 名東区障害者地域生活支援センター

(1) 相談業務

● 新規相談の状況

平成 21 年度の新規相談者実数、内訳等は以下の通り。相談受付作成分のみをカウントしており、電話による短時間の情報提供やサービス調整は入っていない。

前年度と比べ、相談者数が微減している中で、「不安解消・情緒安定」「生活技術」に関する相談が増えている。手帳の交付は受けていなくても、何らかの精神疾患を併せもった方は増えていると思われることや、転居に関する相談が増えていることが影響していると考えられる。

また、「人間関係・家族関係」に関する相談は相変わらず多く、相談支援のあり方としても考慮すべき傾向であると言える。

【居 所】

	名古屋市内			市外	計
	名東区	中区	計		
相談者数	36	1	37	2	39

【年齢—性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	4	20	24
女	2	11	13
不明		2	2
計	6	33	39

【障害種別（複数カウント）】

種 別	身体	重症 心身	知的	精神	発達 障害	高次 脳機能	不明・ 無手帳
相談者数	19	3	15	2	4	0	2

【相談内容（複数カウント）】

	サービス 利用	障害・症状 の理解	健康・ 医療	不安解消・ 情緒安定	保育・ 教育	家族関係・ 人間関係
相談件数	39	12	11	10	2	16

家計・ 経済	生活技術	就労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他
9	8	4	3	2	25

● 相談受付の状況（新規相談を含む）

平成 21 年度に関わった相談者数、内訳等は以下の通り。相談受付の作成までには至らなかった軽微なケースも含まれており、1 年間の相談支援実績そのものと言える。

前年度に比べて相談者数は微増といったところ。匿名の相談分、年齢や障害種別の不明者が増えている。また、精神障害をおもちの方や、手帳を取得していない方からの相談も年々増えている。相談内容の内訳に大きな変化はない。

手帳を取得していない方については、「手帳ありき」ではなく、生活課題をお聞きした上で、ご本人のニーズに即した解決方法を一緒に考えるように留意している。

また制度的には、自立支援法の廃止が先行し、今後の動向が見えない状況であるが、サービス利用者は静観している印象である。

【居 所】

	名古屋市				市外	県外	合計
	名東	千種	中	小計			
人	169	2	1	173	3	1	176

【年齢一性別】

	児童（～17歳）	成人（18歳～）	計
男	13	66	79
女	7	46	53
不詳 1	9	32	41
小計	29	144	173
不詳 2	3		3
合計	176		176

【障害別（複数カウント）】

種 別	身体	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳機能	不明・無手帳
相談者数	75	11	67	20	19	4	13

【相談内容（複数カウント）】

	サービス利用	障害・症状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
相談件数	135	37	39	29	8	57

家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他
30	12	17	11	10	81

● 月別実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	訪問	20	17	23	37	20	16	28	17	21	17	26	23	265
	外来	66	63	57	87	75	72	60	64	60	77	65	74	820
個別会議		2	1	1	2	4	1	2	2	1	0	1	2	19
認定調査		20	20	18	18	7	14	17	18	26	21	21	16	216
配食アセス		0	2	2	2	3	1	2	0	3	1	1	6	23

(2) 名東区障害者自立支援協議会

3年目を迎え、地域課題の解決に向けた具体的な行動、仕組み作りといった成果が求められるようになった印象。そのために、運営会議の準備や課題解決に向けた動きを詰める場として、事務局会議を新設した。また、事例共有の仕組みを改善し、次の支援の展開を意識するように心がけた。

区政運営方針によるケース検討会への専門アドバイザー派遣や雇用機会拡大調査、人権尊重まちづくり事業による映画上映など、区からの事業委託も定着しつつある。行政との連携も強めながら、地域づくりの旗振り役を目指していきたいと考えている。

	実施年月日	会場	参加	備考
協議会	H21/04/22(水)	区役所	14名	事業報告・事業計画・区内状況共有
	H21/10/28(水)	〃	18名	前期報告・ミスポジション論・今後の方向性
運営会議	H21/05/22(金)	区役所	9名	アンケート報告・会則変更
	H21/06/19(金)	〃	10名	障スポ喫茶・区政運営方針
	H21/07/17(金)	〃	13名*1	映画上映実行委員会
	H21/08/28(金)	〃	10名	〃
	H21/09/25(金)	〃	13名	部会報告
	H21/11/27(金)	〃	12名	区内状況共有
	H21/12/25(金)	〃	11名	研修会企画・本会に向けて
	H22/01/22(金)	〃	10名	部会の方向性・研修・映画
	H22/02/26(金)	〃	9名	研修会報告・事務局会議
	H22/03/26(金)	〃	8名	雇用機会調査・来年度企画 映画上映報告・来年度動向 来年度企画・市動向
事務局会議	H22/01/13(水)	〃	6名	区概況・事例共有のあり方・今後のテーマ
	H22/03/16(火)	障スポ	6名	報告様式・事例共有・来年度事業・定例化
研修会	H21/12/14(月)	障スポ	56名	障害者地域自立支援協議会のあり方 *2
まもる部会	H21/04/15(水)	区役所	6名	一人暮らし希望事例の検討
	H21/05/20(水)	〃	7名	〃
	H21/06/26(金)	利用H	11名	本人の意向確認
	H21/07/10(金)	区役所	8名	一人暮らし希望事例の検討 (状況整理)

まもる 部 会	H21/08/19(水)	〃	7名	〃 (一人暮らし体験提案)
	H21/09/16(水)	〃	8名	〃 (生活課題の整理)
	H21/10/14(水)	〃	10名	〃 (体験中の役割分担)
	H21/11/20(金)	ひまわり	9名*3	〃 (体験の様子・体験後の支援)
	H21/12/21(月)	〃	5名	〃 (体験後の課題整理)
	H22/01/20(水)	〃	11名*3	〃 (成年後見制度の申し立て)
	H22/02/03(水)	〃	6名*4	〃 (成年後見制度説明)
	H22/02/24(水)	〃	6名*3	〃 (次回体験・権利擁護)
H22/03/17(水)	〃	8名*3	〃 (説明役割分担・後見イメージ)	
しる 部 会	H21/05/19(火)	杜の家	6名	杜の家見学・意見交換
	H21/07/14(火)	区社協	7名	名東区社会福祉協議会見学・意見交換
	H21/09/15(火)	はまなす	5名	はまなす見学・意見交換
	H21/11/17(火)	ひまわり	4名	ひまわりの風見学・意見交換
	H22/02/16(火)	障スポ	7名	今後の部会の方向性
H22/03/16(火)	〃	4名	今後の部会の方向性	
うごく 部 会	H21/04/14(火)	支援C	4名	バリアフリーアンケート発送準備
	H21/07/08(水)	〃	3名	バリアフリーマップ掲載内容、イメージ
	H21/08/19(水)	〃	3名	レイアウト確認 (藤が丘駅)
	H21/10/07(水)	〃	4名	今後の役割分担 (本郷～池下駅)
H22/02/10(水)	〃	5名	レイアウト確認 (本郷・一社駅)・方向性	
はた らく 部 会	H21/06/05(金)	障スポ	5名	就労実習運営委員会・喫茶開業準備
	H21/09/18(金)	障スポ	5名	関係施設連携・喫茶報告・区政運営方針
	H22/02/25(金)	障スポ	6名	喫茶報告・同種事業の連携・雇用拡大調査
その他	H22/01/31(日)	区講堂	140名	名東区人権尊重まちづくり事業 映画「ふるさとをください」上映会 *実行委員会による開催準備 (6名・6回) 8/21、9/25、10/22、11/27、12/18、1/22

- *1 他区関係者のオブザーバー参加あり
- *2 相談支援体制整備特別支援事業補助金 (地域自立支援協議会運営強化事業分) 活用
- *3 支援調整アドバイザーの参加あり
- *4 他区関係者のオブザーバー参加あり

(3) 関係機関・団体との連絡調整会議／職員の講師派遣等

地域の関係機関の連携の必要性の高まりや、相談支援の役割の周知により、外部会議への参加が増えている。殊に名東区は名古屋市の東端に位置するため、尾張東部圏域の動向も視野に入れる必要がある。支援ネットワークの構築への貢献を目指して、積極的に参加していきたい。

また、支援Cスタッフが、外部研修講師としても活用していただけるようになった一年でもあった。

会議名	実施日	参加機関等	内 容
連絡調整会議			
名古屋市障害者地域生活支援C連絡会	5/19,7/9,10/16,12/18,3/19	名古屋市担当課 市関係機関 各区支援C	制度動向説明、市町村事業、支給決定事務、認定調査、テーマに沿った話し合いなど
名古屋市支援C東ブロック会	7/24,3/9	中・昭和・千種・名東各区支援C	連絡会のテーマ設定、今後のブロック会のあり方
名古屋市支援C世話人会	6/3,9/29,2/12	北・中川・南・名東区支援C	支援C連絡会の事前打合
名古屋市知的障害者生活体験訓練事業利用者決定会議	3/3	名古屋市担当課 関係区支援C	「ちゃれんじホーム」利用希望者の調整
名東区社会福祉協議会地域福祉活動計画推進会議	8/4,9/10,2/18 3/11	公募区民・学生・ボランティア団体など	情報部会に参加し、社協HPや広報紙の内容を検討。
なごや障害者就業・生活支援C会議	6/25,11/13	就・生支援C 県市就業担当課	生活支援と就業支援の連携事例の検討
尾張東部障害者就業・生活支援C会議	3/2	公共職業安定所 その他関係機関	圏域関係機関の連携の仕組み作り
愛知県弁護士会「アイズ」懇談会	3/10	関係弁護士 関係区支援C	消費者被害事例を中心とした権利擁護に関する意見交換
講師派遣			
名障連主任・中堅研修（障害者ケアマネジメント）	6/24,7/29,9/9 10/19,11/20, 11/25	名古屋市・名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会主催	愛知淑徳大 谷口先生を中心講師としたケアマネ研修。主任・中堅職員を対象に、講義とグループ演習を行う
愛知県相談支援従事者現任研修	8/4~6	愛知県主催	県内相談支援専門員のスキルアップおよび資格更新研修
愛知県相談支援従事者初任者研修	9/8~9,12/1~2	愛知県主催	県内障害福祉関係者の、相談支援専門員資格取得研修
高齢者障害者の権利擁護を考える会	1/18	学識経験者・弁護士・福祉関係者の勉強会	障害分野の相談支援、自立支援協議会についての説明
日進市障害者地域自立支援協議会こども部会学習会	2/16	部会員・社協・行政・圏域アドバイザー	地域生活の中での情報共有のあり方の学習
名東区手をつなぐ育成会研修会	9/29	育成会会員	福祉課主査と相談支援専門員が会員と質疑応答。制度説明やサービス利用についてなど。

名東区手をつなぐ 育成会研修会	3/12	育成会会員、関 係事業者	相談支援の説明、家族の立場での 関わり方
その他			
名東区手をつなぐ 育成会	4/25 総会	12/23 クリスマス会	2/6 卒業生を祝う会

(4) 職員研修

名 称	実施日	内 容
相談支援従事者指導者養成研 修会	6/16 ~18	厚生労働省主催による、都道府県推薦者の研修。 修了者は県の研修に企画・講師参加する
愛知県相談支援従事者現任研 修	8/4~6	県内相談支援専門員のスキルアップおよび資格更 新研修→特定事業所加算
発達障害児のための進路のシ ンポジウム	8/24	名古屋市発達障害者支援 C 主催による、親・教育 関係者向けの研修会
名古屋市障害者ケアマネジメ ント研修会	9/15	「セイフティネットとしての生活保護の働き」講演
	3/8	「権利擁護と虐待の取り組み」講演
成年後見制度シンポジウム	10/4	名古屋市社会福祉協議会主催による、成年後見セ ンター設立に向けた研修会
半田市障がい者相談支援 C 学 習会	2/26	滋賀県地域自立支援協議会事務局長による講演と 事例検討
「うつ」って一体なんだ??	3/6	名東保健所主催のこころの健康講座。精神科医の 講演による、うつの理解と対応の学習
愛・地球博継承市民活動支援 事業 「いのち」が輝く瞬間	3/21	愛媛県松山市で活動する、訪問看護 st.と相談支援 専門員の実践報告会

2. ハートフルアクト日進相談支援センター

(1) 概 要

日進市の相談事業委託として市内の4事業者（日進市社会福祉協議会、愛歩、ゆったり工房、ハートフルアクト日進相談支援センター）が事業展開をしている。事業規模は日進市社会福祉協議会が中心となり、他3事業所は相談の窓口としての役割を果たしている。

平成21年度、ハートフルアクト日進相談支援センターは延29件の相談を受けた。相談内容は、母体となるレジデンス日進（旧法 知的障害者入所更生施設）の事業特性から、入所依頼、短期入所利用を中心に緊急性の高い事例や将来へ不安・準備がほとんどだった。

また、日進市行政とともに、連携と機能の強化に努めた。

しかしながら、平成22年度日進市の相談支援体制の変更により、日進市との業務委託は平成21年度を持って終了となった。

(2) 相談者の状況

居住地

	日進市	名古屋市	その他県内	計
人数	7	16	6	29

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福祉会は、提供するサービスの品質管理を法人全体で行いたいと考えています。21年度には、法人内職員研修も始まり、施設現場での改善行動を促しています。

障害福祉を取り巻く環境の変化はまだまだ続きますが、法人・事業所の特色を生かしながら、利用者に喜ばれるサービスの提供を目指して、次の時代の福祉サービスを創造していきたいと考えています。

1. リスクマネジメント

(1) 目的

利用者個々のニーズに最大限応える上で、サービス提供上のリスク管理は必要不可欠であるという認識に立ち、法人単位でのリスクマネジメントを実施。リスクマネージャーを1名設置している。

リスクマネージャーは全職員から「ヒヤリ・ハット・事故報告書」を収集し、支援現場でのリスクの把握・法人全体での共有・分析とリスク軽減に努めている。単に事故防止に留まらず、安全で質の高いサービス提供を目指した職員教育や、苦情解決・サービス評価などの取り組みと連動したシステム作りが必要である。

(2) 構成

リスクマネージャー 1名

(3) 活動報告

● 報告件数

「ヒヤリ・ハット・事故報告書」は、WEB上のASPシステムを利用して、各事業所から提出される。平成21年度中に提出された件数は、以下の通りである。

報告区分	ヒヤリ	ハット	改善提案	事故	苦情	合計
報告数	73	1	1	76	4	155

● 内容

平成21年度の名東福祉会「ヒヤリ・ハット・事故報告書」の主だった報告内容は、以下の5点である。

- ① 転倒
- ② 破損・紛失
- ③ 投棄
- ④ 他者への攻撃
- ⑤ 外傷

● 要因

「ソフト」に関する要因が9割以上を占めており、圧倒的に多い。より詳細には、

- ① 確認が不十分
- ② 観察が不十分
- ③ 判断に誤り
- ④ 連携の問題

が挙げられており、スタッフがヒヤリハット体験や起きてしまった事故を検証し、サービス提供の現場におけるリスク管理のノウハウを共有することが、いかに事故

防止に有効かを物語っている。

● 考 察（今後に向けて）

年度や月次によって件数にバラつきは有るが、「ヒヤリ・ハット・事故報告書」の提出はスタッフの間に定着してきた。改善活動の一環として事故やヒヤリ体験を共有化しようという意識が定着してきたものとする。

しかしながら、スタッフの対応の「不十分さ」や「誤り」に原因があったと結論付け、対策としては「注意しましょう」と個人レベルで終わっている事例が多いようにも感じられる。

リスクを分析する際には、施設の管理上の問題、環境上の問題など、事故の原因を短絡的に「誰が悪い」などというような「人的要因」だけに注目するのではなく、様々なシステム的な視点によって検討することが重要とされている。

リスク管理の本質は、ノウハウの共有化により、より高品質なサービスの提供を実践することにある。今後は、「ヒヤリ・ハット・事故報告書」の分析とその具体的な対策検討により新たな危険予知活動と改善提案の増加を働きかけていきたい。

2. 給食委員会

(1) 目 的

利用者の健康管理・安全管理の観点から給食サービスの内容をチェックし、委託業者と一体となり、よりよい食事サービスの提供につなげていき、法人全体での食の質の向上を目指す。また、客観的なデータに基づき利用者の健康を考えていく。委員会はその為の情報発信をしていく。

(2) 構 成

各施設の職員 1 名（法人管理栄養士を含む）

(3) 活動報告

毎月第 2 水曜日に実施

- ・ 利用者個別対応の検討（健康を考慮した提供）
- ・ 各月の食事提供方法の検討
- ・ イベント食等、楽しめる食事提供の提案
- ・ 給食業者主催の衛生講習会（厨房従事者向け）に参加 10/14
- ・ 委託業者との折衝、交渉

3. 法人職員研修

【上級職員研修】

(1) 目 的

管理者として、自主的・主体的に施設運営をおこない、また、法人内での役割を自覚的に果たしていくために、施設内の課題や関連法規、制度等を管理職としての視点で学習していく。

(2) 構成

各施設の所長

(3) 活動報告

毎月第3水曜日に実施

「舞田竜宣・杉山尚子『行動分析学マネジメント』日本経済新聞出版社、2008」をテキストとして、職員マネジメントを行動分析学を活用して実践していくことを学習する。

9/28 今後の運営方針・研修テーマについて検討し、職員マネジメントを研修テーマとすることを決める。

10/26 職員マネジメントを行動分析をもとに行うことの意義と目的を確認する。

11/26 管理者の言動が職員の行動に与える影響について学習した。

12/21 職場の風土作りと、職員の評価の仕方を学習した。

1/20 職員教育のためのターゲット行動の特定の仕方と、効率的教育方法を学習した。

2/17 職員が自信を持って仕事を行えるようにする支援方法を学習した。

3/17 表彰制度をモデリングとして活用するための方法を学習した。

【中級職員研修】

(1) 目的

各施設の副所長クラスを対象に、日常業務のあり方を振り返り、サービス改善につなげる。参加者による話し合いを基本とし、問題意識を深め、自施設のサービス改善の契機としていただく。

参加者の自主性、業務管理の視点、制度理解等にも留意した内容・進行とする。

(2) 構成

各施設副所長、地域生活支援センター長

(3) 活動報告（設定したテーマ）

9/28 研修趣旨の共有

10/19 各施設のプログラム提供状況の共有

11/30 各施設のプログラム運営のあり方

12/28 各施設の会議・打ち合わせのあり方

1/25 各施設職員の報告のあり方

2/15 研修を踏まえた改善状況の報告

3/15 個別支援計画の検討（レジデンス日進分）

【新規職員研修】

(1) 目的

法人新規採用職員を対象に、障害特性の理解や支援者としての姿勢、サービス提供上の留意点、報告・記録の重要性など、現場業務の基本を学んでいただく。

(2) 構 成

法人新規採用職員、本部長

(3) 活動報告 (参加者数)

5/8 (5名)、9/2 (5名)、1/14 (4名)、1/15 (4名)、2/25 (6名)

4. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.121 (5月発行)

「上ノ山ホーム」の開所に寄せて (理事長 加藤久和)

奈々枝日記 2009/4/7 (会長 加藤奈々枝)

No.122 (8月発行)

福祉風土作りは家族から (理事長 加藤久和)

奈々枝日記 2009/7/11 (会長 加藤奈々枝)

No.123 (12月発行)

名東福祉会の職員研修 (理事長 加藤久和)

職員と組織を変える研修のために (児童行動療育センター長 礒部敦志)

職員研修を通じて見えてくるもの (名東区障害者地域生活支援センター長 小島一郎)

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/modules/sections/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
知的通所授産	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
生活介護 就労継続	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
知的通所更生	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
知的入所更生	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
地域活動支援 センター	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
児童デイサー ビス	行動療育センター たけのこの家	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 14-3	(052)800-2203	(052)800-2204	ABA@meito.or.jp
グループ ホーム	天白ホーム	〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3	(052)807-1578	(052)807-1578	tenpaku-h@muse.ocn.ne.jp
ケアホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	